

第2次伊勢原市食育推進計画【事業評価・事業計画シート】
平成27年度事業評価・平成28年度事業計画

1	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
マタニティクッキング (母親・父親学級2日目)		妊娠期から出産後の家族の食生活に必要な栄養について学ぶ教室。食事栄養調査を行い自身の食事を振り返る。実演・試食を行い食の体験を通し、望ましい食事の摂り方を理解する。	隔月開催 (年6回)	母親父親学級の実参加者の8割の参加
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・AからFコースまで年間6回実施。年間の妊婦実参加者は97名。「お母さんと赤ちゃんの栄養の話し」の参加者は87名であり、実参加者の89.7%に当たる方の参加があった。夫の参加についても全コースを通じ延23名と前年を上回った。 		
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「食育スローガン」を紹介し、講義に朝食喫食についての内容を加えた。 ・「食事調査」を見ると、朝食欠食がありエネルギー不足の妊婦が多い。数値化されたグラフを使い朝食を摂る必要性を伝えている。 ・3日間を通して母親同士の交流があるが、特に一緒に食事を摂る事を通して交流が深められている。 		
	事業評価	A	ABCの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度目標である実参加者の8割を超える参加者があった。 ・教室を通し「食育スローガン」の掲示を行い、周知する事ができた。 ・講義を通し朝食喫食を勧める事ができた。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・「お母さんと赤ちゃんの栄養の話し」は前年同様に実施する。 		

2	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
「ごっくん」離乳食教室		離乳食開始から幼児食まで、基本となる乳幼児期の食生活について学ぶ教室。栄養士講話と離乳食の実演、試食を行う。隔月で母親教室参加者とのふれあい体験を実施。	月1回	月1回実施
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間12回実施できた。 ・年間参加人数251名。前年比121%。妊婦との交流参加人数98名。 ・「ごっくん」離乳食教室への夫参加人数は前年と同様の10名であった。 		
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「食育スローガン」を紹介し、講義に朝食喫食の内容を追加した。 ・教室アンケートでは参加者の朝食欠食率はH25年度は9%、H26年度は11%、H27年度は15%と増加傾向にある。 		
	事業評価	A	ABCの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度目標である「月1回」の実施。 ・前年に比べ20%参加者が増えている。 ・年間を通し「食育スローガン」の掲示を行い周知することができた。 ・朝食喫食を勧める事ができた。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・「ごっくん」離乳食教室は前年同様に実施する。 ・親の食事からの取り分けを推進し、参加自身の食事意識を高め、朝食喫食を勧める。 		

3	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 4
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
乳幼児健診での食育および食事相談		各健診において食事相談と集団での食教育を行う。 健診会場においてポスターを掲示し食育の普及啓発を行う。	月10回	月10回実施
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間120回実施。1135件の食事相談を行った。 ・7ヶ月健康相談では全体の40.9%が「食事相談」を受けられた。 		
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児健診の問診票に欠食と共食の項目を追加し集計した。 822名の受診者中、朝食欠食者は15名(1.8%)、朝食共欠食者は131名(16%)であった。 ・「食育スローガン」を各健診において会場に掲示し周知した。 ・2歳児・3歳児健康診査の集団の講義内容に朝食喫食を推進する内容を加えた。 		
	事業評価	A	ABCの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度目標である「月10回」を実施できた。 ・伊勢原市に住む3歳児の朝食欠食と朝食共欠食の現状が把握できた。 ・年間を通し「食育スローガン」の掲示を行い周知することができた。 ・朝食喫食を勧める事ができた。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・前年同様に実施する。 ・継続して3歳児の朝食・朝食共欠食を把握する。 ・集団指導の内容を充実し朝食欠食率の低下を目指す。 		

4	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
すくすく健康相談での食育および食事相談		各公民館で乳幼児の食事相談を行う。 中央公民館にて栄養士講話・実演・試食を実施。	月3～4回	月3～4回実施
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間44回実施。 ・来所1876名、595名の食事相談を行った。全体の31.7%が食事相談を受けている。 ・中央公民館の乳児の回では「すくすく離乳食」を開催し、親からの取り分けの実演と試食を行っている。273名の来所中、73.6%にあたる201名の参加があった。 乳・幼児の回では「離乳食・幼児食」の講話を行い、498名中29.1%にあたる145名の参加があった。 		
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館で行った「すくすく相談」において「食育スローガン」を掲示し周知する事ができた。 ・講義の内容に朝食喫食を推進する内容を加えた。 		
	事業評価	A	ABCの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度目標である「月3～4回」を実施できた。 ・「食育スローガン」の掲示を行い、周知する事ができた。 ・講義の中で朝食喫食を勧める事ができた。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・前年同様に実施する。 		

5	担当課等実施主体	子育て支援課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
乳幼児の食生活について普及・啓発		①子育て支援センターや各公民館主催の乳幼児教室において食生活講座を実施。 ②健診会場や各公民館において食に関するポスターやレシピ等の掲示。伊勢原市ホームページに乳幼児の食に関する情報を掲載。 ③レシピの作成、配布。		随時
取組結果・実績		・公民館乳児・幼児家庭学級での講義3回実施。 ・支援センターでの啓発1回と、子育てサポーター養成講座の中で講義を1回実施。		
H27	報告事項	・「食育スローガン」の掲示を行った。 ・講義の内容に朝食喫食の内容を追加した。		
	事業評価	B	ABCの理由	・29年度目標であるHPへのアップはレシピ検討中。 ・「食育スローガン」の掲示をおこない、周知する事ができた。 ・講義の中で朝食喫食を勧める事ができた。
H28事業計画・方針		・前年同様に実施する。 ・各公民館事業の「幼児家庭学級」において「ファミリー朝ご飯コンテスト」レシピを紹介し、朝食喫食を推進する。		

6	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
保育所給食を活用した食育		食を営む力を育成し、望ましい食習慣を身につけ、食べることを楽しめるような給食を実施。また、バイキング給食の実施、地場産物の提供、紙芝居等の媒体を使った食育も実施。		各園にて実施
取組結果・実績		離乳期は特に保育士と調理員が連絡を取りながら園児の状態に合わせた食事を提供。また給食時間において保育士による食育を実施。5歳児には月1回栄養士が紙芝居等の媒体を使用した食育を実施。 バイキング給食を各園2～3回実施。 地場産物の提供では伊勢原産の米、梨、柿、みかん、しいたけ、しめじを使用。		
H27	報告事項	平成25年に初めて給食で提供した大山きのこカレーを、今年も提供し、伊勢原産のしいたけ、しめじを使用できた。 バイキング給食では楽しく、そしてバランスよく食べられるように配慮した。		
	事業評価	A	ABCの理由	離乳期の食事は保育士、調理員が連携し園児に合わせて提供ができた。5歳児へは月に1回、紙芝居等を使用し、食育を実施できた。 バイキング給食は各園と内容を相談し実施した。大山キノコカレーの提供も3回目となり、定着した。
H28事業計画・方針		28年度より米飯給食が週2回から週3回に増加する。米の地場産の増加及び和食を教材にした主食、主菜、副菜のバランスのとれた食事内容の指導を強化する。		

7	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
クッキング保育		調理する楽しさを育て、積極的に食事づくりにかかわれるようにする。		各園年 1～2回	各園年1～2回
H27	取組結果・実績	各園にてパフェパーティー、カレーパーティー、ピザパーティー等を年2回実施した。カレーパーティーは各園で栽培、収穫したじゃがいもを使用し、収穫の喜びもあった。5歳児を対象にとうもろこしの皮剥きを行い、おやつで提供した。			
	報告事項	カレーパーティーは外のクラスの子ともたちも見学に来て、全員が興味を持てるようにしていた			
	事業評価	A	ABCの理由	各園で栽培収穫した食材を使用して子どもたちが調理を行うことで、食に対する興味、関心、意欲を伸ばすことができた。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に実施予定			

8	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
園内菜園		食材を育てることを通して食材への興味・関心を促し、自然の恵み、人への感謝の気持ち、命を大切にする気持ちを育む。		各園にて 栽培	現状維持
H27	取組結果・実績	各園にて野菜を栽培。じゃが芋はカレーパーティーにて子どもたちが調理し、給食で食べた。また栽培した食材を家庭に持ち帰り、家庭で食べたり、給食でも提供した。			
	報告事項	高部屋保育園においてはJAいせはら食農教育プラン（プランター野菜づくり）を実施した。また農業まつりに子どもたちが描いた絵を出展した。			
	事業評価	A	ABCの理由	各園で栽培した野菜を子どもたちが調理し、カレーパーティーを実施した。野菜の成長、収穫を体験し、それを実際に食べることで命を大切にする気持ちを育むことができた。	
H28事業計画・方針		28年度は中央育保育園でJAいせはら食農教育プランを実施するほか、各園で野菜を栽培し、もぎ取りを体験したり、給食で提供する。平成28年度はJAいせはら大田地区GC組合の協力によりじゃがいも堀りを5歳児に実施予定。			

9	担当課等実施主体	子ども育成課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
保護者への食育の普及・啓発		保護者への食育の普及・啓発を目的に子どもの食事の様子や食育の取り組みを伝える。 給食だより、給食試食会、食育・食事相談。		月1回配布
		給食だより月1回の配布、保育園の試食会での資料提供を実施した。		
H27	取組結果・実績			
	報告事項	試食会では給食のレシピを配布し、家庭での調理の参考になるようにした。		
	事業評価	A	ABCの理由	給食レシピを試食会で配布し、家庭でも簡単に調理ができるような工夫をした。給食だよりを月に1度配布。保護者へ食育の普及・啓発をする内容を記載した。
H28事業計画・方針		27年度と同様に実施予定		

10	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
教育活動における食育		・食育指導計画により教科や教科外において食育の目標に沿った指導を行う。 給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを習得する。 教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認する。 学校給食を通して、食品の産地や栄養的な特徴等を学習する。 栄養教諭及び栄養職員、学級担任等の教諭が連携し、食育を行う。		小中学校14校で実施
		小中学校14校で継続して実施		
H27	取組結果・実績	各小中学校について、食育を栄養教諭及び栄養職員、学級担任などが連携し、それぞれの学年学級にあった食育を行った。		
	報告事項	手洗いやよくかむこと、よい姿勢や和やかな雰囲気作りは、食事の基本である。食事のあいさつは、感謝の気持ちの表れであり、残さず食べ、協力して食事の準備や後方付けなどの正しい習慣への指導を行った。		
	事業評価	A	ABCの理由	食育指導計画により教科や教科外において食育の目標に沿った指導ができた。
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施。		

11	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び外国に伝わる行事食や郷土料理、地域の伝統や気候風土と深く結び付き、先人によって培われてきた多様な食文化があることを知り、伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。 		全小中学校で実施	小中学校14校で継続して実施
H27	取組結果・実績	行事食や郷土料理を知り、食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めた。			
	報告事項	行事食や郷土料理を取り入れた給食献立の実施、ランチルーム・授業での話、給食だよりや資料配布等を行った。			
	事業評価	A	ABCの理由	行事食や郷土料理を知り、食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高めることができた。	
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施。			

12	担当課等実施主体	学校教育課 各小学校		食育目標 1 2 3 4 5	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> ・ランチルーム 学級単位で年に数回、「ランチルーム」という特別教室で給食を食べ、栄養教諭及び栄養職員による食育等を重点的に行う。 整った食事環境により、楽しく会食することや、食事のマナーを身に付ける。 		全小学校で実施	小学校10校で継続して実施
H27	取組結果・実績	各小学校で、ランチルームを実施し、栄養教諭や栄養職員などが、その学年や学級に応じた食育を実施している。			
	報告事項	はしの使い方、食器の並べ方、話題の選び方などマナーを考え、相手を思いやり、楽しい食事につながるよう指導した。また、学校給食にはいろいろな食品が使われていること、栄養のバランスをよくするために、好き嫌いをなく食べることが必要であることを指導した。			
	事業評価	A	ABCの理由	各小学校で、ランチルームを実施し、栄養教諭や栄養職員などが、その学年や学級に応じた食育を実施できた。	
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施。			

13	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> 学校給食における地場産物の使用推進 「かながわ産品学校給食デー」や、「学校給食地場野菜使用推進事業」のほか、年間を通して給食食材に地場産物を積極的に使用することにより、地域の自然、食文化、産業等について理解を深める。 地場産物の生産者や生産過程等を理解することにより、食べ物やそれにかかわる人への感謝の気持ちを育てる。 地域の生産者等と連携した食育を行う。 	「かながわ産品学校給食デー」は全小学校、「学校給食地場野菜使用推進事業」は9小学校で継続的に実施	市内10校で実施
H27	取組結果・実績	かながわ産品学校給食デーは、月1回、各小学校で実施した。「学校給食地場野菜使用推進事業」は、平成27年度中に1校を追加して実施。全10校で毎月1回、地場産物の野菜を給食で使用している。		
	報告事項	地場産物生産者と、年3回の会議を実施している。		
	事業評価	A	ABCの理由	地場産物を教材として使用する事により、給食残量が減るなど、食育に優れた効果が認められた。全小学校で実施することができた。
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施。		

14	担当課等実施主体	学校教育課 各小中学校		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
教育活動における食育		<ul style="list-style-type: none"> 家庭地域との連携 給食だより、学校だより、保健だより、給食試食会、給食衛生委員会等により、学校における食に関する指導の目標や方法、学校給食の意義、役割等について共通理解を図り、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組む。 	全小中学校で実施	小中学校14校で継続して実施
H27	取組結果・実績	給食だより、学校だより、保健だよりや、給食試食会、給食衛生委員会等を開催し、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組んだ。		
	報告事項	家庭や地域と学校が連携することにより、各小中学校や児童生徒の実態にあわせた食育に取り組むことができた。		
	事業評価	A	ABCの理由	給食だより、学校だより、保健だよりや、給食試食会、給食衛生委員会等により、共通理解を図り、家庭や地域と学校が連携した食育に取り組むことができた。
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施。		

15	担当課等実施主体	学校教育課 各中学校		食育目標	1	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標	
思春期栄養改善事業		青年・壮年期以降の生活習慣の出発点である中学生に対し、望ましい食習慣を身に付けるよう促すため、骨密度測定と栄養教育を行う。効果的な食育を行うため、食生活に関するアンケートを行い、中学生の現状を把握する。		全中学校で実施	市内4中学校で実施	
H27	取組結果・実績	市内4中学校の各校で年1回ずつ、中学2年生816名に対し、骨密度測定及び栄養教育を実施した				
	報告事項	食生活に関するアンケート調査は、栄養指導のための資料として学校に報告するほか、伊勢原市食育推進計画の基礎資料として計画に役立っている。				
	事業評価	A	ABCの理由	骨密度測定を取り入れた栄養指導を継続して実施することで、思春期の栄養指導の貴重な機会となっている。各中学校で実施することができた。		
H28事業計画・方針		平成27年度に引続き実施予定。				

16	担当課等実施主体	指導室		食育目標	1	2	3	4	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標				
「総合的な学習時間」での取組		地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方について理解を深めたり、農業体験等を通して自分の食生活全般を振り返り、よりよい生活習慣や食習慣を考えたりする。		各学校の年間計画に基づき実施	小中学校14が年間計画を作成する				
H27	取組結果・実績	小学校第3学年から第6学年、及び中学校において、総合的な学習の時間の中に食に関する指導を位置づけ、指導を行った。							
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、野菜や米等の栽培や収穫体験、調理実習などを通じて、食べ物への感謝の気持ちをはぐむ指導等を行った。 ・中学校においては、家庭科や保健体育科の学習を発展させた指導を通じて、自分のより良い生活習慣について考える指導を行った。 							
	事業評価	A	ABCの理由	総合的な学習の時間の年間計画に位置づけられた様々な体験等を通じて、食習慣を含めた生活習慣について考えることができた。					
H28事業計画・方針		総合的な学習の時間において、充実した食育の実践が行われるよう、推進連絡会や研修会を通じて、各校の取組について情報交換を行っていく。							

17	担当課等実施主体	指導室		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
各教科等での食に関する指導		各教科（社会、理科、生活、家庭、技術・家庭、体育、保健体育等）で、それぞれの学校や児童生徒の実態に合わせて創意工夫に努め、食に関する指導の学習を展開する。		各学校の年間計画に基づき実施
取組結果・実績		小学校低学年では生活科、中学年では理科、高学年及び中学校においては、家庭科を中心に食に関する指導を位置づけ、指導を行った。		
H27	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> 生活科では、小学校全校でミニトマトなどの野菜の栽培を行った。 理科では、小中学校全校で植物の生長や人体の消化等について指導した。 家庭科では、小中学校全校で栄養について学習し、調理実習を行った。 小学校体育科及び中学校保健体育科では、小中学校全校で望ましい食習慣等について指導した。 		
	事業評価	A	ABCの理由	小中学校全校で教科の年間計画に食に関する指導を位置づけ、指導を行うことができた。
H28事業計画・方針		各教科の授業の目標に、食に関する指導の視点を付け加えることで、家庭科や給食指導以外の各教科の指導で食育が実践できることを、研修会等を通じて周知していく。		

18	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
思春期食育事業		高校生への骨量測定と食教育の実施。		随時
取組結果・実績		市内A高校に骨量測定、食教育および食事相談を実施。参加者171人。うち学生は106人（=62%）		
H27	報告事項	骨密度の結果説明と同時に食教育および食事相談を実施した。昨年度に比べ、人数、学生の割合ともに増えた。		
	事業評価	A	ABCの理由	目標を達成することができた。
H28事業計画・方針		市内A校については、前年度どおり実施予定。今後、市内高校2校実施に向けて、学校と調整していく。		

19	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
39歳以下健診		39歳以下の方を対象とした健康診査時に食事相談を実施。	年2回	受診者100%へ食教育及び情報提供の実施。
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回健診を実施し、健診会場で骨量測定会を実施し157人が参加。 ・受診者全員（100%）にリーフレットを配布して、食に関する情報提供を行った。 		
	報告事項	参加者のうち78人に食事相談を実施した（50%）。		
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比べ、対象者数を増やすことができた。目標についても達成することができた。
H28事業計画・方針		前年度と同様に実施。相談内容により、市の教室を紹介するなどの対応をする。		

20	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
ヘルスマイト養成講座		食を通じた健康づくりをするボランティアの養成講座。	年1コース（15日間）	毎年8割以上の入会者
H27	取組結果・実績	年1コース8日間実施。修了者8人のうち6人がヘルスマイトへ入会を希望した（約8割）。		
	報告事項	入会を希望したものの、実際に入会した人は5人（約6割）。多くの方に周知し、入会者の増加につなげることが今後の課題である。		
	事業評価	B	ABCの理由	計画どおりに実施し、前年度とほぼ同様の入会者。
H28事業計画・方針		前年度と同様に実施予定。周知開始時期を早め、地方誌での周知など広く周知を図る。		

21	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
生活習慣病予防教室		生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防が目的の教室。運動、栄養士講話や試食など。		年1回
H27	取組結果・実績	糖尿病、血糖値予防を目的とした「早めが肝心！血糖値セミナー」、脂質異常症予防を目的とした「目指せ！サラサラしなやか血管セミナー」を実施。それぞれ、年1回2日間コース。		
	報告事項	栄養士の担当する回では、講話と調理実習の両方を行い、実生活をイメージしやすいようお伝えした。		
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり実施した。目的別に2種類の教室を実施した。
H28事業計画・方針		前年度と同様に実施。		

22	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
OB会（生活習慣病予防教室）		生活習慣病予防の教室終了後に継続して生活習慣を見直すためのグループ活動。		随時
H27	取組結果・実績	各会、調理実習の前に講話を担当し、レシピ作成時の支援を行った。 ・やまぶきの会（糖尿病予防教室OB会） 年2回20人 ・さつき会（脂質異常症予防教室OB会） 年2回22人		
	報告事項	会の特徴に合わせた内容で講話を実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	会の高齢化などの理由で、実施回数については、29年度目標には達していないが、会員の依頼に合わせて、調理実習等の支援を行った。
H28事業計画・方針		やまぶきの会については、前年度と同様に平塚保健福祉事務所秦野センター栄養士と連携し、継続して支援する。 さつき会については、前年度末に会員数減少および高齢化を理由に解散した。今後のOB会のあり方について検討していく。		

23	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
ヘルスアップ相談（食事・運動・生活相談）		生活習慣病予防が気になる方（希望者および通知した方）への食事相談。	年15回	年15回、各回3名ずつ実施（年45名）
H27	取組結果・実績	年19回実施し、44人の参加があった。保健師、栄養士、健康運動指導士と連携して実施。		
	報告事項	予定より1回少ない実施だった（希望者がいない回があったため）		
	事業評価	B	ABCの理由	29年度までの目標をほぼ達成できた。対象者の抽出の仕方や相談方法について、検討が必要。
H28事業計画・方針		年間20回、各回3人の定員で実施する。		

24	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 4
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
骨量測定相談会		骨量測定実施後、食事相談を実施。	年14回	参加者100%へ食教育及び情報提供を実施。
H27	取組結果・実績	年15回の骨量測定相談会の中で、食事相談を415人に実施した。参加者全員（100%）にリーフレットを配布して、食に関する情報提供を行った。		
	報告事項	骨量の結果で相談に乗るので、正確な血液データなど確認しながら相談を受けることが難しい。		
	事業評価	A	ABCの理由	29年度目標を達成した。
H28事業計画・方針		年15回実施予定。		

25	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
「簡単！料理レシピ集」の配布・普及		市の各課栄養士（学校教育課・保育課・介護高齢福祉課・健康管理課）で作成したレシピ集。市の窓口や地区公民館、教室などで配布。		随時
取組結果・実績		窓口、地区公民館で配布。ホームページで紹介した。		
H27	報告事項	継続して配布予定。		
	事業評価	A	ABCの理由	内容の見直しをし、必要な部分は修正した。ホームページのレシピについても見直し、記載方法を工夫した。
H28事業計画・方針		前年度同様に実施。		

26	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
市民の食生活について普及・啓発		伊勢原市のホームページにて「食育のページ」を作成および更新。各団体やボランティア等へ望ましい食生活について普及・啓発。		随時
取組結果・実績		・ホームページにて健康ポータルサイトの中の「食育のページ」を月1回更新した。 ・食育を担うボランティア（伊勢原市ヘルスマイト）の定例会や、依頼のあった団体への講話や調理実習を実施した。		
H27	報告事項	職員への食育の一環として、職員課と共同で庁内メールで情報発信を行った。同様にホームページ上で市民についても情報発信した。		
	事業評価	A	ABCの理由	29年度目標を達成した。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、食育推進連絡会議で決まったスローガンなどをPRしていく。 ・20歳代への情報発信を強化するため、SNSを利用していく。 ・市民や食育を担うボランティアの育成を充実させる。 		

27	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
いせはら食育セミナー		テーマにあわせた栄養士の講話と調理実習。	新規	年間参加者 100人以上
H27	取組結果・実績	年9回実施し、100人が参加した。		
	報告事項	中央公民館だけでなく、地区公民館3か所でも実施し市内に広く普及した。ヘルスマイトの新任者研修も兼ねて実施し、退会者が減るなど、効果もみられた。		
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり、年間参加者100人以上に実施し、テーマに沿った内容で食育の推進を図ることができた。
H28事業計画・方針		年9回、地区公民館でも実施予定。		

55	担当課等実施主体	健康管理課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
ファミリー朝ごはん コンテスト		朝食喫食率アップ、楽しい食体験の積み重ねを達成し、市民の健康増進を図るための、小学校5・6年生と保護者を対象とした、朝食料理コンテスト。	新規	30組の応募
H27	取組結果・実績	10組の応募。		
	報告事項	一次審査（書類審査）、2次審査（実技審査）を行い、4組の受賞者が決定。道灌まつりにて表彰式を行った。 受賞作品をレシピ集にまとめ、全校に配布するなど普及啓発に活用した。		
	事業評価	A	ABCの理由	応募があり、実施できた。
H28事業計画・方針		夏休みの課題として取り組んでもらう。		

28	担当課等実施主体	保険年金課		食育目標 1 4	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
特定保健指導		40歳～74歳で伊勢原市国民健康保険加入の人を対象に健診を実施後、必要な人に保健指導（食事相談など）を実施。		随時	継続
H27	取組結果・実績	特定健診の結果、保健指導の対象となった方のうち、申込みをされた93名に保健指導を実施。			
	報告事項	保健指導では生活習慣を振り返り、一人ひとりに合った目標を一緒に考え、食事や運動のポイントのアドバイスを各々に6ヶ月間実施した。			
	事業評価	A	ABCの理由	保健指導の未利用者に対し、文書や電話による利用勧奨を行った結果、未利用者の内44名（H28年4月末現在）を保健指導の利用に繋げることができた。	
H28事業計画・方針					

29	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3	
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
おいしく食べよう栄養教室		低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善が目的の教室。調理実習、栄養講話、運動、口腔ケア等の内容。		月1回程度	参加者の体重維持・増加者の割合の増
H27	取組結果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年11回実施（8月は実施せず）。平成27年度参加者は実人数28名、延べ113名であった。 ・参加者28名中25名（89%）が体重維持・増加ができた。 			
	報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが実施している介護予防教室や、その他介護予防事業等でBMIチェックを実施し、低栄養の方への参加を勧めたことで、参加者数は維持できた（昨年度実人数26名）。体重維持・増加者の割合も増えた。（昨年度86%） 			
	事業評価	A	ABCの理由	参加者の体重維持・増加の割合が増えた。	
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正による新総合事業の実施に伴い、二次予防事業は実施しないため、本事業は廃止となる。 新総合事業における通所型サービスCや一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業の中で栄養改善事業を組み込んで実施していく。 			

30	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
栄養教室同窓会		継続した低栄養予防・改善を目的に実施している、「おいしく食べよう栄養教室」修了者のOB会。調理実習を中心に実施。		年4回
H27	取組結果・実績	年4回実施し、参加者は80名であった。内容は低栄養改善のための調理実習や会食、栄養士講義等。参加者のモニタリングも実施し、悪化傾向にある方は、再度栄養教室の再受講や管理栄養士訪問などでフォローした。		
	報告事項	平成19年度から実施している事業のため、参加者の高齢化に伴い、参加者数は減少傾向にある。		
	事業評価	B	ABCの理由	参加者はほぼ維持できた（昨年度82名）。参加者の高齢化に伴い、会場まで自分で来ることが難しくなっている方も増えてきている。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正による新総合事業の実施に伴い、栄養改善のみの事業は廃止となるため、この栄養教室同窓会も廃止となる。 ・「いきいき健康教室同窓会」を実施し、今までの栄養教室同窓会の参加者に加えて、運動や口腔ケアの対象者も合わせ参加者の増をめざす。 		

31	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
訪問栄養相談		低栄養のおそれのある高齢者の低栄養改善を目的に、管理栄養士が訪問栄養相談を実施。		随時
H27	取組結果・実績	訪問14回延べ14名に実施した。		
	報告事項	二次予防把握事業の実施を「65歳以上」から「70歳のみ」に縮小したため、低栄養の対象者の把握が進まなかったため、昨年度に比較し訪問栄養相談の実施者が大幅に減少した。（昨年度92名）		
	事業評価	C	ABCの理由	前年度に比較し、訪問の件数が減った。制度改正の移行期のため、積極的な対象者把握を行わなかったため。
H28事業計画・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正による新総合事業の実施に伴い、二次予防事業訪問栄養相談は廃止となる。 ・新総合事業における訪問型サービスCの中で管理栄養士による訪問栄養相談を実施していく。 		

32	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 123
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
介護予防料理講習会		高齢者向け料理講習会。伊勢原市ヘルスマイトが実施。	各公民館 1回以上	参加者200名
H27	取組結果・実績	年12回実施し、参加者は167名であった。内容は参加者向けにヘルスマイトによる簡単なメニューの調理実習や講話等を行った。		
	報告事項	広報による募集だけでなくヘルスマイト自身が周知もし、参加者が増えた。		
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、参加者が増えた。(昨年度153名)
H28事業計画・方針		既に高齢者向けにヘルスマイトが自主事業としておこなっている講習会とも連携し実施していく。地域包括支援センターとの連携も継続していく。		

33	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 123
取組・事業名		事業内容とその目的	現状	29年度目標
出張！簡単クッキング		依頼に応じ、老人クラブやミニサロン等の地域に出向き、調理と試食会の実施。	随時	10箇所
H27	取組結果・実績	依頼に応じ2会場で実施した。会場に炊飯器や調理器具を持ち込み、簡単メニューの調理デモンストレーションを行い、参加者に試食してもらった。		
	報告事項	依頼のあったミニサロン2箇所のみでの実施であった。		
	事業評価	B	ABCの理由	昨年度の4箇所からさらに減った。
H28事業計画・方針		・今まで実施したことのない会場などでも実施できるように、老人会やミニサロン等にPRをしていく。		

34	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 1 2 3 4 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
高齢者の食生活について普及・啓発		ミニサロンや老人クラブ、地域包括支援センター、ボランティア等へ高齢期の望ましい食生活について普及・啓発。		随時
取組結果・実績		ミニサロン等59回1245名、高齢者学級や地域包括支援センター依頼事業等も実施できた。		
H27	報告事項	公民館からの高齢者学級や健康管理課のヘルスマイト養成講座など、庁内の関係各課からも高齢者の食についての講師依頼があり、連携がとれた。口腔機能向上や運動機能向上教室にも栄養士が出向き普及啓発を行った		
	事業評価	A	ABCの理由	前年度に比較し、人数や回数が増えた（昨年度43回1014名）
H28事業計画・方針		・28年度は「認知症予防の食事」をテーマに、引き続き実施していく。		

35	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標 2 3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
介護予防サポーター養成・育成講座		各地域での介護予防を目的としたサポーターの養成講座。管理栄養士の回の実施内容は、高齢者向けボランティア活動における、食に関する注意点や実施内容等。基礎コースと専門コースを隔年で交互に実施。専門コースの1つに、介護予防・栄養サポーター養成講座がある。		2年に1コースの実施
取組結果・実績		隔年開催のため平成27年度は事業実施なし		
H27	報告事項			
	事業評価		ABCの理由	
H28事業計画・方針		栄養サポーター養成講座は健康管理課の伊勢原市ヘルスマイト養成講座を紹介する形で実施とする。 ヘルスマイト養成講座の中で、高齢者の食育について話をしていく。		

36	担当課等実施主体	介護高齢福祉課		食育目標	1
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
配食サービス希望者への管理栄養士訪問		希望者が申請後、管理栄養士が訪問し栄養アセスメントを実施する。		随時	40名
H27	取組結果・実績	20名に管理栄養士訪問し、配食サービス導入やモニタリングを行った。			
	報告事項	対象者の状況に応じ、担当ケアマネジャーや包括支援センターと連携を取りながら栄養ケアや食事相談等を実施した。			
	事業評価	A	ABCの理由	配食サービス利用者の事業者変更があり、訪問・栄養アセスメント実施が増えた。(昨年度16名)	
H28事業計画・方針		民間による配食サービスが普及しているため、新規の申請数が減ってきている。今後、新しい総合事業等における配食サービスの実施も踏まえ検討が必要。			

37	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業体験事業(教育ファーム)		米作り(谷戸田オーナー制度)、野菜づくり、など栽培から収穫までの農業体験。		実施	20組
H27	取組結果・実績	年10回開催し、18組が参加した。			
	報告事項	米づくりの農業体験を通じて、谷戸田の原風景を保全するとともに自然と触れ合うことで、農業の持つ多面的機能を理解させることができた。			
	事業評価	A	ABCの理由	目標組数に達し、事業目標を達成している。農業体験を通して食材に対する興味を持たれている。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に実施する。			

38	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		市民朝市（毎月第1日曜日（10月休み、12月：第1・第3日曜日、1月：第2日曜日）） 野菜・果物・卵・花・落花生など「新鮮・安全・安心」な生産物を販売。		実施	1回で行う出店者数を10店舗以上
H27	取組結果・実績	年12回開催し、生産者と消費者の交流を図ることができた。			
	報告事項	全体的に例年どおりでの開催内容だった。			
	事業評価	A	ABCの理由	市民朝市では、「新鮮・安全・安心」な生産物が販売されている。朝市で消費者と生産者との交流が行われ、食材に関心を持ってもらい、参加してもらえる機会を提供している。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に開催予定。開催は市役所にて実施予定である。			

39	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		畜産まつり。 動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めるまつり。		実施	来場者 2,000人
H27	取組結果・実績	11月21日・22日の2日間で第35回伊勢原市畜産まつりを開催（JAいせはら農業まつりと同時開催）し、約3万人の来場があった。			
	報告事項	動物とのふれあいや農畜産物の販売を通じ、農畜産業への理解と関心を深めることができた。			
	事業評価	A	ABCの理由	目標数を大幅に上回る来場者があり、畜産に対する興味を持っていただき、食の大切さを理解してもらった。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に開催予定。			

40	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		みかんの木オーナー制度。 消費者がみかんを収穫できる権利を買い、収穫を楽しむことができる制度。（その年の生育状況によって、募集できない年も有）		実施	600本
H27	取組結果・実績	2つの観光農業推進組合により、みかんの木オーナー制度が実施された。			
	報告事項	原則として、リピーターのオーナーを優先とした。			
	事業評価	A	ABCの理由	子供から大人までみかんを通して食材に対する興味を持っていただいたと感じており、次世代へ食の大切さをつなげることができた。	
H28事業計画・方針		26年度に続き27年度も新規募集ができなかったため、28年度は新規のオーナー募集が実施できるよう、観光農業推進組合と調整する。			

41	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
市民農園		野菜や花の栽培を通じて自然と触れ合うとともに、自らの健康や家族とのふれあい、農業に対する理解を深めることを目的に、遊休農地等を利用した「八幡谷戸ふれあいガーデン（市民農園）」（高部屋地区西富岡地区）が指定管理者により運営されている。 ●「八幡谷戸ふれあいガーデン」248区画、NPO法人ファームパーク湘南が管理・運営する市民農園「ファームパーク上平間」52区画、「ファームパーク八幡台」54区画 ※「八幡谷戸ふれあいガーデン」の指定管理者は、平成28年4月より変更。		実施	八幡谷戸ふれあいガーデンの利用率46%以上
H27	取組結果・実績	市民農園利用状況 八幡谷戸ふれあいガーデン：72区画／216区画（利用率33.3%） ファームパーク上平間：52区画／52区画（利用率100.0%） ファームパーク八幡台：54区画／54区画（利用率100.0%）			
	報告事項	八幡谷戸ふれあいガーデンは指定管理者が、ファームパーク上平間とファームパーク八幡台はNPO法人が、それぞれ適正に運営管理を行った。			
	事業評価	B	ABCの理由	八幡谷戸ふれあいガーデンについては市内外へ利用募集のPRを行うが、利用率向上は図られなかった。両ファームパークについては利用率も高く、利用者自身による食材育成という食育の目標は達成できたと考えるが、八幡谷戸の利用率が低いため、評価を「B」とする。	
H28事業計画・方針		指定管理者変更後の初年度であり、指定管理者とともに、利用率向上に向けて協議・検討を要する。			

42	担当課等実施主体	農業振興課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
環境保全型農業の推進		低農薬で化学合成肥料をなるべく使用しない環境にやさしい農業を推進し、安全かつ安心な農畜産物を消費者に提供するとともに都市型農業の振興を図る。		実施	栽培面積300a
H27	取組結果・実績	環境にやさしい農業への取り組みが行われた。			
	報告事項	有機農業者による畑作を中心とした栽培が行われた。			
	事業評価	A	ABCの理由	消費者の皆さんに、農業者が取り組む環境保全型農業に関して興味を持っていただけたら、食育の観点から目標を達成していると考ええる。	
H28事業計画・方針		地産地消を基本とする都市型農業の総合的推進を図る上で必要な事業として、引き続き実施する。			

43	担当課等実施主体	社会教育課		食育目標	3
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
公民館における料理教室		「幼児家庭教育学級」「高齢者学級」、夏休みにおける親子を対象とした講座など。幅広い年代に応じた食事の作り方・与え方や、食生活のあり方等を学ぶ。		各公民館年1回以上	各公民館年1回以上
H27	取組結果・実績	調理施設のない大山公民館を除くすべての公民館において、料理教室等を1回以上開催し、食の大切さを学んだ。 平成27年度実績：34講座（34回） 延べ参加者数 472名			
	報告事項	幼児家庭教育学級や高齢者学級においては、対象者の年代に合った食事や食生活のあり方等について学び、自らの食生活を見直す機会となるように努めた。 また、公民館によっては料理実習室がなく、調理施設・設備に制約がある中、講座の実施や内容の充実に努めた。			
	事業評価	A	ABCの理由	市内各公民館（大山公民館を除く）において、様々な年代層に対する料理教室を実施し、食生活や食文化など食の大切さを学ぶことができた。	
H28事業計画・方針		平成27年度と同様に実施予定。 食に対する関心は年々高まりを見せていることから、講座・教室の内容も時代に即した内容を検討するとともに、事業内容について広く住民へ周知する。			

44	担当課等実施主体	人権・男女共同参画推進室 社会教育課		食育目標 123
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
29年度目標				
父子料理教室	男性を対象にした日常生活支援及び子育てへの関わりの支援として、父子料理教室を社会教育課の夏休み事業の位置づけで実施する。		年1回	年1回
H27	取組結果・実績	<p>【人権・男女共同参画推進室 回答】 家庭内での男女共同参画意識の向上と実践を図る講座として実施した。 日時：平成27年8月9日（日） 参加者数：11組24名</p> <p>【社会教育課 回答】 人権・男女共同参画推進担当との共催により父子を対象とした料理教室を実施し、日ごろ家事・育児参加の少ない男性が家事・育児へのかかわりを持てるように支援した。 H27年度実績 1講座（1回） 24人（親子11組）参加</p>		
	報告事項	<p>【人権・男女共同参画推進室 回答】 社会教育課と共催で実施することで、効率的に事業実施することができた。 また、夏休みに実施することで、父と子のコミュニケーションを深める場としても有効であった。</p> <p>【社会教育課 回答】 人権・男女共同参画推進担当との連携により、効率的な講座の運営に努めた。 夏休み事業として実施し、多くの参加を得ることができた。 また、父と子の交流を図る場としても有効であった。</p>		
	事業評価	A	ABCの理由	<p>【人権・男女共同参画推進室 回答】 計画どおり、年1回開催し、男性の子育てや家事への参加に対する意識を高めることができた。</p> <p>【社会教育課 回答】 計画どおり実施し、男性への家事・育児参加を推進するとともに、父と子の交流を図ることができた。</p>
H28事業計画・方針		<p>【人権・男女共同参画推進室 回答】 平成28年度も社会教育課と共催し、事業を開催する</p> <p>【社会教育課 回答】 平成27年度と同様に実施予定。 人権・男女共同参画推進担当と連携し、参加者の増員に努める。</p>		

45	担当課等実施主体	環境対策課 市民協働課 学校教育課 子ども育成課		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
食品の放射性物質検査		子どもの食の安全を確認し、食品の放射能汚染に対する市民の不安を払拭する目的で、給食食材や市民が市内で購入した食品の放射性物質検査を実施する。		学校・保育園給食、市民持込み食品を月に4検体実施	月に4検体実施していく
H27	取組結果・実績	<p>【環境対策課回答】 市内の公立小学校及び公立保育所の給食で使用する食品の放射性物質濃度スクリーニング検査を実施し、子どもの食の安全を最優先に確認するとともに、市民から持ち込まれる食品の検査を実施することにより、市民の不安を払拭させることを目的に実施。 (小学校及び公立保育所の給食食材 92検体、市民から持ち込まれた食品 0検体)</p> <p>【市民協働課回答】 市民からの持ち込み件数 0件</p> <p>【学校教育課回答】 給食実施期間中、月2回2品目～6品の検査を実施、野菜等全51品目を検査した。</p> <p>【子ども育成課回答】 給食で使用される食材を毎週2品目検査した。</p>			
	報告事項	<p>【環境対策課回答】 平成24年9月の検査開始からこれまでに測定した食材680検体(平成28年3月末現在)はすべて放射性セシウムの値が測定限界値未満であることや産地や旬が異なるものでも測定限界値未満であることから一定の安全性が確認できた。</p> <p>【市民協働課回答】 市民からの持ち込み件数 0件</p> <p>【学校教育課回答】 いずれの食材についても、測定限界値未満であることが確認された。</p> <p>【子ども育成課回答】 基準値を超えるものはなかった。</p>			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>【環境対策課】 当初、平成25年8月までの1年間で食品衛生法における「食品、添加物等の規格基準」について、市場に出回る食品の遵守が見極められたら検査を終了する予定であったが、給食現場から「検査環境の維持を」との要望があり、検体数を減らし継続させた。このことにより、子供の食の安全確認はもとより、保護者並びに給食の提供に携わる者の不安を払拭させた。</p> <p>【市民協働課回答】 市民からの持ち込み件数が0件であったため、評価出来ません。</p> <p>【学校教育課回答】 いずれの食材についても、測定限界値未満であることが確認された。</p> <p>【子ども育成課回答】 検査の結果基準値を超えるものは検出されなかった。 安全な給食を提供できた。</p>	
H28事業計画・方針		<p>【環境対策課回答】 検査を引続き実施していき、給食食材等の安全性を確認していく。</p> <p>【市民協働課回答】 食品の放射能汚染に対する市民の不安を払拭するため、引き続き食品の受け入れを実施していく。</p> <p>【学校教育課回答】平成27年度と同様に隔週で食材検査をする。</p> <p>【子ども育成課回答】 基準値を超えたものがなかったことから、28年度は月4品目で検査を実施する。</p>			

46	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
農業に関するイベント		園芸まつり(園芸シーズン到来を告げるイベント)、農業まつり(実りの秋、収穫の秋を楽しむイベント)、GCふれあいまつり(JA各支所のGC組合員が地域の人々とふれあうイベント) 等。		年1回ずつ開催	現状維持
H27	取組結果・実績	4月18・19日に園芸まつりを開催。 11月21・22日に農業まつりを開催。 10月から11月にかけてGCふれあいまつりを各支所にて開催。			
	報告事項	園芸まつりにおいては、野菜苗・お花の無料配布を行った。 農業まつりにおいては、タウン紙を活用してPRを行い、タウン紙に直売所利用券の応募券を載せて集客をはかった。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に開催予定。 園芸まつり、農業まつりの内容については、それぞれの実行委員会にて検討、決定。 GCふれあいまつりの内容については、各支所のGC組合会議にて検討、決定。			

47	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	35
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
JAいせはら ふれあい 農業塾(教育ファーム)		農作業の技術習得、農業理解につなげることを目的に市内在住在勤の方を募集し、1年間の講義や実習の講座。		月1回	現状維持
H27	取組結果・実績	27年度は20人が受講し18人が修了した。3月から翌年1月まで毎月1回開催。その他必要に応じて圃場の手入れなど行った。			
	報告事項	新規受講者で実施した。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に開催予定。			

48	担当課等実施主体	JAいせはら		食育目標	345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
JAいせはら女性部による料理講習会		子育て中の母親や親子を対象とした料理教室。講師は女性部員。		随時	現状維持
H27	取組結果・実績	7月29日に開催。10組、24人が参加しました。			
	報告事項	27年度で4回目の実施で、料理で使った食材に対して親子で楽しめる食農教育をクイズ形式で行			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H28事業計画・方針		27年度と同様に開催予定。 JAグループが食農教育の雑誌として推奨している「ちゃぐりん」を活用した料理と食農教育を実施。			

49	担当課等実施主体	伊勢原市ヘルスマイト		食育目標	12345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
伊勢原市ヘルスマイトによる料理講習会		市内6地区公民館を拠点に全てのライフステージを対象に料理講習会を実施。 ジュニアクッキング、男の料理教室、生活習慣病予防料理教室、介護予防料理教室、そばづくり、おもてなし料理など。		随時 生活習慣病予防料理教室は各地区5回ずつ	市委託事業12回・市交付金事業33回・その他委託事業や自主事業の継続
H27	取組結果・実績	市委託事業12回、市交付金事業33回、協力事業21回、自主活動事業29回、(財)日本食生活協会委託事業5回、神奈川県委託事業2回			
	報告事項	料理講習会をより良いものにする為、定例会や学習会を実施し、会員のスキルアップを図った。			
	事業評価	A	ABCの理由	計画とおり実施した。	
H28事業計画・方針		料理講習会参加者へ、ヘルスマイト養成講座にお誘いし会員の増加に努める。料理講習会を良いものにするよう努める。			

50	担当課等実施主体	神奈川県環境農政局		食育目標	345
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
ふるさとの生活技術指導士		農家・農村地域に受け継がれてきた生活技術を伝承している人を「ふるさとの生活技術指導士」として認定。都市農業の理解や振興を旨とし、郷土に伝わる生活文化の継承活動を推進。		認定者数 神奈川県 280人 伊勢原市内 8人	事業推進
H27	取組結果・実績	318名（伊勢原市内12名）の方が認定。			
	報告事項				
	事業評価	A	ABCの理由	計画どおり実施した。	
H28事業計画・方針		H27年度同様に実施。			

51	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター 健康管理課 等		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
食の安全安心に関する情報提供		神奈川県、秦野保健福祉事務所及び市のホームページ等により食の安全安心に関する情報提供の充実。食の安全安心に関する情報誌、資料等の積極的な提供。		随時	随時 (数値化困難)
H27	取組結果・実績	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県ホームページに「かながわの食の安全・安心」のページを掲載（秦野センターからはリンク） ・かながわの食品衛生（パンフレット） 100部配布 ・食中毒予防街頭キャンペーンにて（H27.8.3 伊勢原駅南口周辺）パンフレット 1,000部配布 ・食中毒警報発令時 食中毒予防啓発チラシ 250部配布 ・大学・高校の学園祭における食品衛生講習会の開催 3回 114名 <p>【健康管理課回答】</p> <p>各種健康づくり教室等で伝えた。特に調理実習を伴う教室では、多くの参加者がいるため、参加者が衛生的に実習できるよう、知識の普及を図った。</p>			
	報告事項	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <p>学園祭における食品衛生講習会は、向上高校、伊志田高校、自修館中等教育学校で実施</p> <p>【健康管理課回答】</p> <p>保健福祉事務所と連携を取りながら、実施した。</p>			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <p>計画通りに実施した。</p> <p>【健康管理課回答】</p> <p>各種健康づくり教室等で伝えた。特に調理実習を伴う教室では、多くの参加者がいるため、参加者が衛生的に実習できるよう、知識の普及を図った。</p>	
H28事業計画・方針		<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27年度と同様に実施予定 <p>【健康管理課回答】</p> <p>前年度と同様に実施予定。</p>			

52	担当課等実施主体	平塚保健福祉事務所秦野センター 保健福祉課 等		食育目標	5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状	29年度目標
栄養表示等適正化推進事業		<p>健康増進法に基づき、栄養表示基準制度、特別用途食品、食品の健康保持増進効果等に関する虚偽・誇大表示等について、普及啓発、活用促進、適正化指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養表示状況調査 ・食品製造・販売等関連業者に対する相談・指導及び消費者相談 		年1回 随時	栄養表示の義務化に向け、現在、消費者庁では環境整備について検討中
H27	取組結果・実績	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造・販売等関連業者に対する事前相談 9件延べ15回 ・消費者からの相談 1件1回 ・事業者向け講習会 1回67人 ・給食施設向け普及啓発講習会 1回38人 ・消費者向け普及啓発 10回315人 <p>【健康管理課回答】 各種健康づくり教室で、講話やリーフレット等で伝えた。また、庁内で情報の共有を行った。</p>			
	報告事項	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月1日から食品表示法が施行されたことに伴い、原則として一般消費者向け加工食品、及び添加物について、栄養成分表示が義務付けられた。 ・新しい表示方法について、事業者からの相談に対応すると共に、住民が栄養成分表示を健康づくりに役立てることができるように、表示の正しい見方とその活用法について普及啓発を実施した。 <p>【健康管理課回答】 保健福祉事務所と連携を取りながら、実施した。</p>			
	事業評価	A	ABCの理由	<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】計画通りに実施した。</p> <p>【健康管理課回答】 各種健康づくり教室等で伝えた。国の動向に留意し、適宜対応した。</p>	
H28事業計画・方針		<p>【平塚保健福祉事務所秦野センター回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事業者からの相談に応じると共に、住民や事業者に対しても栄養成分表示について普及啓発し、活用を推進する。 <p>【健康管理課回答】 前年度と同様に実施予定。</p>			

53	担当課等実施主体	伊勢原協同病院		食育目標 1 2 3 5
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
地場産フレッシュ野菜を使ったお料理教室		季節の地場野菜を使用した料理教室。食事と生活習慣病、簡単ストレッチを管理栄養士が指導。		年3回
取組結果・実績		年4回実施、計112名が参加。		
H27	報告事項	調理実習および、それぞれのテーマに合わせた生活習慣病予防についてのミニレクチャーを行った。4回の実施内容は、「皮から作る、もちもち手作り餃子に挑戦」、「デパ地下風サラダとマリネ」、「体の中から温まる薬膳料理に挑戦」、「もちより差し、入れレシピ」を計画、実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	26年度は新築移転で実施回数は3回だったが、前年度は4回実施した。参加者は定員を上回る申し込みで盛況であった。予算、内容においても計画通り進捗した。
H28事業計画・方針		同回数、テーマを変えて実施予定。		

54	担当課等実施主体	伊勢原協同病院		食育目標 1 2 3 4
取組・事業名		事業内容とその目的		現状
メンズビギナー クッキングスクール		初心者向け男の料理教室。基本的な料理の仕方、食事と病気について管理栄養士が説明。		年3回
取組結果・実績		年3回実施、計40名が参加。		
H27	報告事項	調理実習および、それぞれのテーマに合わせた生活習慣病予防についてのミニレクチャーを行った。3回の実施内容は「カロリーが気になる中華をヘルシーに」、「おいしく減塩！ヘルシーにパスタ」、「おいしくカロリーダウン」を計画、実施した。		
	事業評価	A	ABCの理由	参加者のアンケート調査から、取り上げてほしいテーマ、メニューを実施。予算、内容においても計画通り進捗した。
H28事業計画・方針		同回数、テーマを変えて実施予定。		